

医療英語特論

[講義] 第1・2学年 前期 選択 2単位

《担当者名》 近藤里美 skondo@hoku-iryo-u.ac.jp 松本由起子 Shaun Hoggard

【概要】

リハビリテーション科学分野における専門的文献の読解力および情報収集能力を養うとともに、研究成果を英語で発信するためのプレゼンテーション基礎能力を養う。医療英語の理解と運用力を高めることにより、国際的な学術研究活動および専門実践に活用できる基礎的能力を身につけ、高度専門職業人としての研究・実践能力の基盤形成を図る。

【学修目標】

1. リハビリテーション科学分野に関連する基本的な医療英語を理解し、専門的内容を適切に説明できる。
2. 英語による学術論文を批判的に読解し、その内容を整理・要約して発表できる。
3. 自身の研究内容を英語で論理的かつ適切にプレゼンテーションできる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1～5	医療に関する情報を英語で得る	インターネットを使い、医療にかかわる情報を日本にいながら日常的に英語で得る手段や、その際に必要な基礎的英語力を身につける方法を、日常に組み込んでいく。	松本由起子
6～10	医療英語論文を読む	各自の研究領域の医療英語論文を読み、内容を理解し、要旨の記述と発表を行う。	近藤里美
11～15	Academic presentations	Study appropriate academic presentation forms, develop effective skills, practice presenting research.	Shaun Hoggard

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【アクティブ・ラーニング】

導入している

【評価方法】

プレゼンテーション（作成資料および発表内容）50%、講義への参加状況（質疑・応答・議論への参加態度）50%

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

- ・英英辞典は毎回の講義に必携
- ・各自の研究に関連する分野文献等を調査

【学修の準備】

- ・各自の研究に関連する文献論文を検索し学習すること（120分）
- ・毎回の講義の英語表現の復習や一般的語彙の習得（80分）

【ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）との関連】

本科目の内容は、「リハビリテーション領域における臨床的課題に対し、医科学・心理学・社会福祉学などの学際的視点を取り入れながら科学的に分析・解決する能力を身につけている」及び「研究成果を学術的に発信できる能力を身につけている」というリハビリテーション科学専攻博士前期（修士）課程のディプロマ・ポリシーに適合している。

【実務経験】

近藤里美（音楽療法士）

松本由起子（通訳・翻訳）

【実務経験を活かした教育内容】

海外の医療機関での実務経験を活かし講義を行う。

通訳・翻訳者としての実務経験を活かし講義を行う。